

災害から地域を守る決意新たに！

～平成23年東通村消防団出初式～



観閲者の越善村長

当日は風雪に見舞われるなどあいにくの天候でしたが、悪天候の中でも一糸乱れず、威風堂々とした分列行進や纏振り演技を披露し、消防団員としての強い決意と力強さを感じさせました。

早朝より整然と整列した団員は、関係者が見守る中、現況報告・通常点検を行ない、越善村長、濱端団長他、関係者による砂子又八幡宮拝礼を行い、今年1年の無災害を祈願しました。

1月7日（金）、村体育館駐車場において、平成23年東通村消防団出初式が行なわれ、濱端源三団長以下団員309名と特別参加の下北試験場消防隊が越善靖夫村長の観閲を受け、防災への決意を新たにしました。



勇壮な纏振り演技を披露



現況報告をする濱端団長

濱端団長から「消防人としての自覚と誇りを忘れることなく、日常活動に精励したい」と決意が述べられ、越善村長は「原子力発電所立地の村にあつて、住民の安全・安心が一層求められており、消防署、各分団の連携をもって消防活動に精励するよう願う」と訓示しました。



威風堂々で行われた分列行進



越善村長に目録を手渡す川原田氏（左）

12月22日（水）、川原田恒氏（東通村診療所所長）が役場庁舎を訪れ、「大学等への進学を目指す子どもたちへの支援に役立ててください」と、金100万円を東通村へ寄附されました。

寄附を受けた越善靖夫村長は「将来進学を目指す子ども達の支援のために役立てさせていただきます」とお礼を述べました。

「寄附いただいたご浄財は『東通村育英奨学基金』として活用させていただきます。

ありがとうございました。

**子どもたちの
進学支援のために**